

風 か ほ る

校長 石原 健

学校行事の有用性について

合唱コンクールをはじめとする学校行事は、その取り組みの中で生徒同士に様々なコミュニケーションの場が生まれ、普段あまり会話をしない友達とも話す機会が増えます。加えて、生徒によっては実行委員やパートリーダーなど運営の中心的な役に立候補し、苦労の中にも自己の成長を実感する者もいます。リーダー的な仕事を務めるとリーダーへの見方が変わり、別の場面での協力意識が高まります。(リーダーシップとフォロワーシップ) その様なことを特定の生徒たちだけが経験するのではなく、様々な生徒たちが経験することで集団のレベルも高まっていきます。そういった人間的な成長のためにも、「他者との関係」を学ぶためにも、学校行事はとても重要な教育活動なのです。

先日(少し前のことにはなりますが…)、私は自分の持っている iPhone の機能の進化にとても驚いたことがありました。(単に OS のアップグレードで知らないうちに進化していたのですが…) AI の進歩についても頻繁に報道されているように、私たちを取り巻く環境の変化、特に技術革新のスピードは今まで以上に早く、質も向上しています。この先、AI にとって代わられる仕事は?? なんてニュースも時折耳にします。しかし、よく考えてみて下さい。そういった最新技術を作っているのは人間です。加えて、一人の人間の能力で作りに出しているケースなんてほとんどありません。最終的には「人」であり、多くの場合は人と人とが協力し合って、出来上がっているのです。だからこそ、周囲の人(他者)と上手に関わりを持つことは大切ですし、この先も大切なことには変わりはありません。南陵中学校も学校行事を含め教育活動全般でそんな資質が身に付けられる場所になるよう注力していきたいと思います。

地域での活躍 文化祭、ボランティア活動

11月1日(土)には、吾妻地区文化祭が吾妻まちづくりセンターにて開催されました。吹奏楽部と合唱部が発表し会を盛り上げ、SDGs のポスターの表彰も行われました。地域の人々のつながりを深める行事に、中学生が参加し一緒に活動でき、よい経験となりました。愛校会の役員さんもコーヒーショップを出店いただき、南陵中で取れた柿もお店に彩りを与えてくれました。本校愛校会について地域の皆さんにアピールいただきました。ありがとうございました。

また、南住吉子ども祭り、松が丘華齢の会など、自治会、町内会の行事にも多くの中学生がボランティアとして参加し会を盛り上げ、お礼のことばをいただいています。



赤ちゃんふれあい事業

11月26日（水）より、1年生の技術・家庭科（家庭分野）の授業で「中学生と赤ちゃんのふれあい体験」を実施しています。体験はクラスごとに実施しており、赤ちゃんと母親が関わる姿をみてもらい交流を図ることを通して、未来の自分を想像しながら「命の尊さ」を学び、授業で学んだことを深化するものです。また、地域との関わりにおいては、今後の子育て支援、地域活性化につなげていくことにもなります。この授業は、中学校前のつばめ児童館と共催で平成28年度から始まり、コロナ禍では中止していましたが、令和3年より再び実施しているものです。つばめ児童館



を利用している親子に来校いただき、児童館の職員による子どもの発達の説明や赤ちゃんをだっこさせてもらったり、一緒に遊んだりしながら交流体験をしています。

南陵中生の活躍（敬称略）

○第93回埼玉県駅伝競走大会（中学校の部） 於：熊谷文化スポーツ公園

男子駅伝チーム 21位

出場選手 1区： 2区： 3区：

4区： 5区： 6区：

○第49回埼玉県アンサンブルコンテスト中学生地区大会

銅賞 管楽五重奏 管打楽器八重奏

○令和7年度中学校新人体育大会

相撲 3位

○第66回入間地区児童生徒発明創意くふう展

優良賞

○吾妻地区文化祭SDGs・脱炭素ポスター展入選者

1位 2位 3位



<お知らせ>

所沢市教育功労者表彰について

11月20日（木）、本校の愛校会会長を務めていただいている高田美智子さんが令和7年度所沢市教育功労者（学校教育・社会教育の功労者）として表彰で表彰されました。ご存じの通り、本校では愛校会からは様々な形で援助をいただいております。直近では上記駅伝大会のバス代や県大会への参加費を支出していただいております。あわせてご連絡申し上げます。

今年も残りわずかとなりました。みなさん、良い年をお迎えください。